

道徳通信



小方学園

道徳通信

令和5年7月

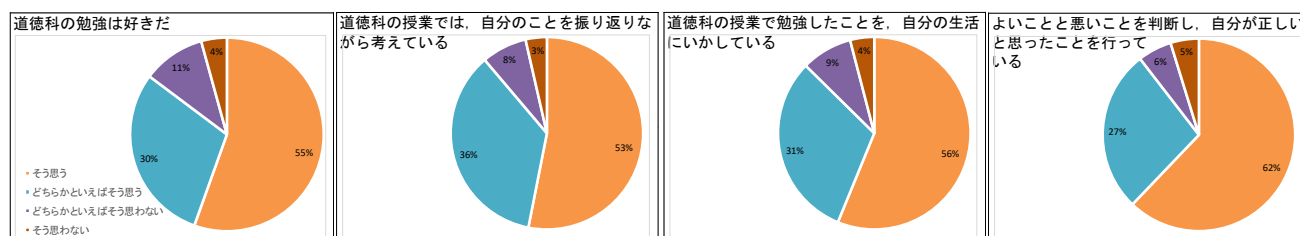
道徳教育推進リーダー 西

本年度小方学園は、「道徳教育推進拠点地域事業」に指定され、道徳教育に関する研究を進めています。研究主題を、「道徳的行為をしようとする内面の力を育てる道徳科の授業の在り方～道徳的価値観を形成する発問づくりを通して～」と設定し、道徳科の授業における効果的な発問について、日々研究を重ねているところです。

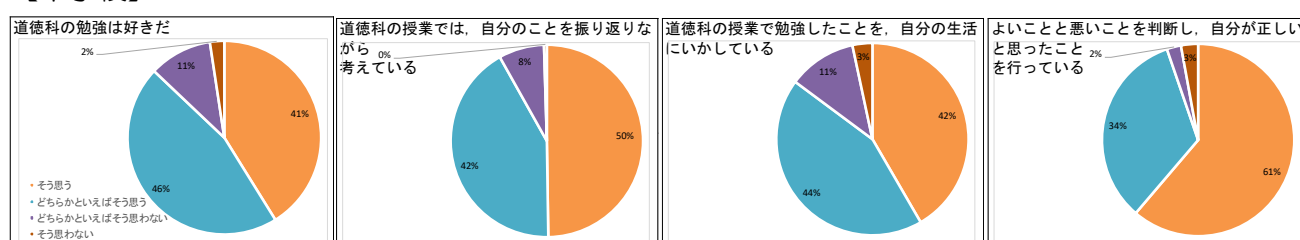
本年度の道徳科の授業は、すべてではありませんがチーム・ティーチング（T・T：複数の教師が役割を分担して指導する方式）で、主に、学級担任と道徳教育推進リーダーの2人体制で実施しています。授業の実施にあたっては、学習の流れや発問について事前に協議し、授業後には振り返りをしています。

本年度初旬に児童生徒に実施した道徳教育に関するアンケートでは、肯定的評価が「道徳の勉強は好きだ」85%（小学校）・87%（中学校）、「道徳科の授業では、自分のことを振り返りながら考えている」85%・87%、「道徳科の授業で勉強したことを自分の生活にいかしている」87%・85%、「よいことと悪いことを判断し、自分が正しいと思ったことを行っている」90%・95%など、道徳に関する意識は比較的高いことが分かりました。今後は、これらの評価がさらに高まるよう、道徳科の授業はもちろん、学校の教育活動全体を通して、児童生徒の道徳性を育てていきたいと思います。

【小学校】



【中学校】



9月15日（金）には、道徳参観日が予定されています。本校の道徳教育について知っていただくよい機会と考えています。多数のご参加をお待ちしております。

【授業の様子】



掲示板「道徳コーナー」